

生体管理学

(授業概要)

動物を扱う仕事（ペットショップ、動物保護スタッフ、ふれあい施設スタッフ）の上で必要な動物飼育方法を身につけるために、飼育棟内小動物・鳥・家畜動物、両生爬虫類エリアの両生爬虫類のハンドリング方法や健康チェック方法、動物のケージの掃除等を実際にやりながら学び、習得する。

科	生命科学科	教員	伊勢・竹内
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×2コマ

目標

前期

- ・小動物のハンドリングや健康チェックを行いながら、ケージの掃除や飼育棟内の清掃を50分以内に終わらせ、効率の良い作業方法を習得する。
- ・両生爬虫類エリアの使い方や動物の特徴、飼育管理方法について学び、1つ1つの作業の必要性を理解した上で2時間以内に作業を終わらせる

後期

- ・小動物に加えて爬虫類のハンドリング、健康チェック方法もマスターし、爬虫類ならではのガラスケージなどの掃除方法も習得する。
- ・グループ内でその日の目標と反省を行いながら作業をすすめ、自分の頭で考えながら飼育管理を行う。

授業計画

- 1回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 2回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
- 3回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 4回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
- 5回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 6回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
- 7回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 8回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
- 9回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 10回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
- 11回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 12回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
- 13回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
- 14回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習

15 回 前期期末試験(実施)
16 回 前期期末試験(返却・解説)
17 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
18 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
19 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
20 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
21 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
22 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
23 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
24 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
25 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
26 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
27 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
28 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
29 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
30 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
31 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習
32 回 後期期末試験(実施)
33 回 後期期末試験(返却・解説)
34 回 爬虫類飼育実習/飼育棟実習
35 回 飼育棟実習/爬虫類飼育実習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実習

きょうざい
教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル 哺乳類編・鳥類編

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20% (しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

小動物のハンドリングや健康チェック、両生爬虫類Ⅱ、飼育用品概論Ⅱの復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

アクアリウム学

(授業概要)

ペットショップ・アクアショップなどの施設において水槽管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また売上を上げるために必要な知識、水槽の見せ方などを学習する。

科	生命科学科	きょういん 教 員	姉崎
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	×
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

目 標

前期

ペットショップで取り扱われていることが多い、魚種の飼育方法や機材の使用方法を理解し、担当水槽において実践できるようにする。

後期

主に熱帯魚を中心とした水槽でのレイアウトの基本を理解し、見る人にとっての価値を高めることができる水槽を作成できるようにする。また、実習においてポップや作業マニュアルなどを用いて水槽内だけではなく、棚や壁面などもアレンジを加え、ペットショップさながらの空間を学生たちの手で作り上げる。

授 業 計 画

- 1 回 ショップエリアの水槽の管理方法解説、給餌の曜日担当決め、水槽管理実習
- 2 回 水槽の立ち上げとリセット、生体の移動、水槽管理実習
- 3 回 水槽の立ち上げとリセット、生体の移動、水槽管理実習
- 4 回 投げ込み式フィルター・底面フィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 5 回 外掛けフィルター・スポンジフィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 6 回 外部フィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 7 回 伝言ゲーム（フィルターのメンテナンス）、水槽管理実習
- 8 回 魚種解説①（カラシン）、水槽管理実習
- 9 回 魚種解説②（カダヤシ）、水槽管理実習
- 10 回 魚種解説③（シクリッド・アナバス）、水槽管理実習
- 11 回 魚種解説④（ナマズ）、水槽管理実習
- 12 回 伝言ゲーム（魚種）、水槽管理実習
- 13 回 大掃除、長期休みの給餌当番決め 水槽管理実習（復習も兼ねて全ての水槽で換水）
- 14 回 魚種解説⑤（コイ・ドジョウ）、水槽管理実習
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返却
- 17 回 魚種解説⑥（古代魚・その他の魚種・エビ・貝類など）、水槽管理実習
- 18 回 魚種解説⑦（金魚・メダカ・日本淡水魚）、水槽管理実習
- 19 回 餌解説（乾燥・冷凍・生餌・人工）、水槽管理実習
- 20 回 照明器具、保温・保冷器具解説、水槽管理実習
- 21 回 伝言ゲーム（餌または照明器具）、水槽管理実習

- 22 回 床材解説、水槽管理実習
- 23 回 水草解説①、水槽管理実習
- 24 回 水草解説②、水槽管理実習
- 25 回 水草のトリミング方法について、水槽管理実習
- 26 回 レイアウト構図・水槽配置計画、水槽管理実習
- 27 回 レイアウト構図・水槽配置計画、水槽管理実習
- 28 回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 29 回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 30 回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 31 回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 32 回 大掃除、水槽管理実習
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 後期期末試験返却、水槽管理実習
- 35 回 大掃除、後輩への引き継ぎ最終準備、水槽管理実習

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

座学、実演、実習

きょうざい 教材

レイアウトに使える水草 500 種図鑑、はじめての熱帯魚と水草 アクアリウム BOOK

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、
 じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

担当水槽においての通常メンテナンス

じつむけいけん じゅぎょうかもち かんけい 実務経験と授業科目の関係

東海大学海洋学部環境社会学科卒業 水族館での実習経験あり

経営概論

（授業概要）

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていくうえで直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

科	生命科学科	教員	津田
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

後期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

授業計画

- 1 回 経営戦略について
- 2 回 経営戦略（経営理念、企業のこだわり、理念と戦略）
- 3 回 経営戦略（経営理念、理念と業務、理念と優先順位）
- 4 回 経営戦略（環境分析、マクロ環境とミクロ環境、日本特有の環境）
- 5 回 経営戦略（環境分析、SWOT 分析）
- 6 回 成長戦略（成長ベクトル、企業成長の過程）
- 7 回 成長戦略（多角化戦略、さらなる成長のために）
- 8 回 成長戦略（事業ポートフォリオ、事業と資金の循環）
- 9 回 成長戦略（事業ポートフォリオ、経験の成果と製品の循環）
- 10 回 成長戦略（内部成長方式と外部成長方式、自己成長、提携）
- 11 回 売上管理（数学）
- 12 回 売上管理（数学）
- 13 回 売上管理（数学）
- 14 回 前期期末試験の対策
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験の結果発表
- 17 回 前期の振り返り
- 18 回 マーケティングについて

- 19 回 マーケティングと販売の違い
- 20 回 一般的なマーケティングの流れ
- 21 回 マーケティング（STP 分析）
- 22 回 マーケティング（水平思考）
- 23 回 グループディスカッション
- 24 回 グループディスカッション
- 25 回 マーケティング（顧客価値について）
- 26 回 マーケティング（4P について）
- 27 回 マーケティング（バリュープロポジションについて）
- 28 回 マーケティング（普及率 16% について）
- 29 回 グループディスカッション
- 30 回 グループディスカッション
- 31 回 グループディスカッション
- 32 回 後期期末試験の対策
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 後期期末試験の結果発表
- 35 回 1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学・グループディスカッション

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学Ⅱ

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ

科	生命科学科	教員	三輪
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。最低限の応急処置、対応ができること、それに加え予防策、接し方を習得する。実際の症例課題を与え、問題点、応急処置対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

後期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し最終形態である「死」についても理解を深める。

授業計画

- 1回 授業について エマージェンシーとは
- 2回 状態確認の方法
- 3回 応急処置 出血①
- 4回 応急処置 出血②
- 5回 応急処置 やけど①
- 6回 応急処置 やけど②
- 7回 応急処置 熱中症①
- 8回 応急処置 熱中症②
- 9回 応急処置 ショック①
- 10回 応急処置 ショック②
- 11回 応急処置 ショック③
- 12回 応急処置 骨折①
- 13回 応急処置 骨折②
- 14回 実習
- 15回 実習
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却
- 18回 応急処置 眼球突出①

- | | | |
|------|-----------|---------|
| 19 回 | 応急処置 | 眼球突出② |
| 20 回 | 応急処置 | けいれん発作① |
| 21 回 | 応急処置 | けいれん方法② |
| 22 回 | 応急処置 | 感電 |
| 23 回 | 応急処置 | 窒息 |
| 24 回 | 応急処置 | 誤食① |
| 25 回 | 応急処置 | 誤食② |
| 26 回 | 応急処置 | 中毒① |
| 27 回 | 応急処置 | 中毒② |
| 28 回 | グリーフケア | ① |
| 29 回 | グリーフケア | ② |
| 30 回 | 老齢動物の飼育管理 | |
| 31 回 | 若齢動物の飼育管理 | |
| 32 回 | 安楽死 | エンゼルケア |
| 33 回 | 安楽死 | エンゼルケア |
| 34 回 | 後期期末試験 | |
| 35 回 | 後期期末試験返却 | |

授業の方法

座学、グループワーク

教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

コンパニオンキャットⅡ

(授業概要)

猫のカラー遺伝について

正しいブリーディングを行うための遺伝・病気・ケアなど、

飼い主さんに伝えることができ利用になる為

科	生命科学科	教員	上田阿由美
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

ブリーディングをするのに、正しい知識を学ぶ

(血液・遺伝病を含む)

スタンダード

後期

子猫の育児(保護した子猫含む)

人工哺乳・離乳・性格矯正

老猫のケア

高齢期の猫の病気

スタンダード

授業計画

- 1回 猫の血液型
- 2回 猫新生児溶血性黄疸(FNI)①
- 3回 猫新生児溶血性黄疸(FNI)②
- 4回 猫のカラー①
- 5回 猫のカラー②
- 6回 猫のカラー③
- 7回 猫のカラー④
- 8回 ブリーディング①(正しい目的で行う為に)
- 9回 ブリーディング②(交配の方法・注意)
- 10回 ブリーディング③(受胎確認・受精)
- 11回 ブリーディング④(妊娠中のケア①)
- 12回 ブリーディング⑤(妊娠中のケア②)
- 13回 ブリーディング⑥(出産前の母猫の変化ケア)
- 14回 ブリーディング⑦(産後のトラブル・ケア)
- 15回 前期期末試験
- 16回 テスト返却(不理解部分の説明)
- 17回 後期に向かったの注意、まとめ

- 1 8 回 ブリーディング⑧（人工哺乳）
- 1 9 回 ブリーディング⑨（人工哺乳）
- 2 0 回 ブリーディング⑩（離乳）
- 2 1 回 ブリーディング⑪（性格矯正）
- 2 2 回 血統書①
- 2 3 回 血統書②
- 2 4 回 老猫のケアー①
- 2 5 回 老猫のケアー②
- 2 6 回 老猫のケアー③
- 2 7 回 老猫の病気 ①
- 2 8 回 老猫の病気 ②
- 2 9 回 老猫の病気 ③
- 3 0 回 猫の病気のまとめ
- 3 1 回 スタナード
- 3 2 回 スタナード
- 3 3 回 後期期末試験
- 3 4 回 テスト返却（不理解部分の説明）
- 3 5 回 2 年間の総まとめ

授業の方法

座学

教材

CFA 公認猫種カラーコピー・「猫の教科書」 ペットライフ社

評価の方法

期末試験80%、平常点 20%

授業外での学習方法

機会があればキャットショー見学

実務経験と授業科目の関係

CFA（キャットファンシャーズアソシエーション U.S.A）公認 オールブリードジャッジ

就職演習

(授業概要)

- ・それぞれの目指す就職先への到達を目指す。
- ・就職活動において必要な知識、スキルを身につける。
- ・社会に出た際に必要となるマナーを身につける。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標
前期
・ 自分を知り、就職のビジョンを明確にする。
・ 自己アピール力を高める。
後期
・ グループでの話し合い方について学ぶ。
・ 社会人として求められる一般常識を身に付ける。

授業計画
1回 就職への道
2回 自己分析①
3回 価値観①
4回 価値観②
5回 求めるもの①
6回 求めるもの②
7回 自己分析②
8回 自己アピール力・他己分析
9回 強みとスキル
10回 応募書類・書類審査について
11回 自己PR作成①
12回 自己PR作成②
13回 志望動機の書き方
14回 履歴書のポイント・職務経歴書について
15回 挨拶状のポイント・前期振り返り
16回 前期期末試験（実施）
17回 前期期末試験（返却・解説）
18回 就活進捗状況確認①
19回 就活進捗状況確認②
20回 面接①

21 回 面接②
22 回 面接③
23 回 グループディスカッション①
24 回 化粧について
25 回 グループディスカッション②
26 回 会社に求められる能力
27 回 ビジネスマナー ～社会人になったら～①
28 回 ビジネスマナー ～社会人になったら～②
29 回 ビジネスマナー ～社会人になったら～③
30 回 近況報告書①
31 回 近況報告書②
32 回 ビジネスマナー・一般常識①
33 回 ビジネスマナー・一般常識②
34 回 後期期末試験（実施）
35 回 後期期末試験（返却・解説）

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつ しけん 期末試験 80%、平常点 20% しゅっせきりつ（出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物関連法規学Ⅱ

(授業概要)

外来生物法やワシントン条約を中心として、主に野生動物に関する法律を学ぶ

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

外来生物法、ワシントン条約などについて理解できるようになる。

後期

種の保存法、鳥獣保護法、漁業系の法律などについて理解できるようになる。

授業計画

- 1回 外来種と外来生物 (1) 言葉の定義
- 2回 外来種と外来生物 (2) 導入経路 その1
- 3回 外来種と外来生物 (3) 導入経路 その2
- 4回 外来生物法 (1) 施行年、目的など
- 5回 外来生物法 (2) 特定外来生物 その1
- 6回 外来生物法 (3) 特定外来生物 その2
- 7回 外来生物法 (4) 特定外来生物 その3
- 8回 外来生物法 (5) 未判定外来生物、種類名証明書が必要な生物
- 9回 外来生物法 (6) 罰則
- 10回 ワシントン条約 (1) 日本語と英語の正式名称
- 11回 ワシントン条約 (2) 条約の成立背景、プロフィールなど
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 ワシントン条約 (3) レッドリストとの違い
- 15回 ワシントン条約 (4) 留保
- 16回 ワシントン条約 (5) 附属書Ⅰについて その1
- 17回 ワシントン条約 (6) 附属書Ⅰについて その2
- 18回 ワシントン条約 (7) 附属書Ⅱ、附属書Ⅲ
- 19回 種の保存法 (1) 法律の概要
- 20回 種の保存法 (2) 国内希少野生動植物種 その1
- 21回 種の保存法 (3) 国内希少野生動植物種 その2
- 22回 種の保存法 (4) 国内希少野生動植物種 その3
- 23回 種の保存法 (5) 国際希少野生動植物種 その1
- 24回 種の保存法 (6) 国際希少野生動植物種 その2
- 25回 種の保存法 (7) 国際希少野生動植物種 その3

26 回 種の保存法（8）緊急指定種
27 回 後期期末試験
28 回 後期期末試験返却
29 回 鳥獣保護法（1）
30 回 鳥獣保護法（2）、
31 回 漁業法（1）
32 回 漁業法（2）
33 回 水産資源保護法（1）
34 回 水産資源保護法（2）
35 回 2 年総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしげん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

両生爬虫類学 II

(授業概要)

本授業では、一年に学んだ基礎の延伸として、両生爬虫類の飼育に関する手法を講義し、地下飼育施設での演習を通じて学ぶ。また、後半では、両生爬虫類に関連する学術論文を輪読することで研究、調査の情報を知り、自ら研究計画を構築できるようになる。

科	生命科学科	きょういん 教 員	潘 之甫
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

両生爬虫類（カメ、カエル、トカゲなど）の飼育手法を習得する。

飼育施設のメンテナンス及びトラブル処理ができるようになる。

後期

両生爬虫類（カメ、カエル、トカゲなど）に関する文献を輪読する。

データの取得・整理・報告に関する手法に習熟し、自身も調査・研究計画を作成できるようになる。

授 業 計 画

- 1 回 オリエンテーション、本講義について
- 2 回 リクガメの飼育
- 3 回 水生ガメの飼育・半水棲ガメの飼育
- 4 回 トカゲ・ヤモリ類の飼育
- 5 回 樹上性トカゲ・地上性トカゲの飼育
- 6 回 ヘビの飼育
- 7 回 地下飼育施設の確認（演習）
- 8 回 カエル類の飼育
- 9 回 サンショウウオ類の飼育
- 10 回 両生類の繁殖・初期飼育
- 11 回 地下飼育施設の確認（演習）
- 12 回 両棲爬虫類の教育的展示手法
- 13 回 前期振り返り、試験対策 1
- 14 回 試験対策 2
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 試験返却、輪読計画の作成
- 17 回 学術文献の調べ方
- 18 回 学術文献のまとめ方

- | | |
|------|------------------|
| 19 回 | 学術文献の発表の仕方 |
| 20 回 | 学術文献の輪読（両生類の調査） |
| 21 回 | 学術文献の輪読（両生類の調査） |
| 22 回 | 学術文献の輪読（両生類の調査） |
| 23 回 | 学術文献の輪読（爬虫類の調査） |
| 24 回 | 学術文献の輪読（爬虫類の調査） |
| 25 回 | 学術文献の輪読（爬虫類の調査） |
| 26 回 | 学術文献の輪読（両生類の生態） |
| 27 回 | 学術文献の輪読（両生類の生態） |
| 28 回 | 学術文献の輪読（両生類の生態） |
| 29 回 | 学術文献の輪読（爬虫類の生態） |
| 30 回 | 学術文献の輪読（爬虫類の生態） |
| 31 回 | 学術文献の輪読（爬虫類の生態） |
| 32 回 | 輪読結果の総括 |
| 33 回 | 後期期末試験（レポート提出） |
| 34 回 | 後期期末試験（レポート提出） |
| 35 回 | レポート振り返り、一年間振り返り |

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法

講義、演習

きょうざい 教 材

必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう 評 価 の 方 法

期末試験 80%、授業態度・出席率 20%

じゅぎょうが い がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
--

生物飼育施設での飼育管理、日常生活において生き物の観察を行う

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実 務 経 験 と 授 業 科 目 の 関 係
--

台湾・台北市立木柵動物園保全研究センターでの実務経験。日本環境教育学会員。

プレゼンテーション概論

(授業概要)

卒業研究発表ならびに就職後に取り組むと予期される各種プレゼンテーションの機会に向け、プレゼンテーションソフトであるマイクロソフトパワーポイントの取り扱いに習熟する。さらに、聴衆であるクラスメイトや教員とのコミュニケーションをとりながら口頭発表に取り組むことで、聴衆の知識レベルや関心に沿ったプレゼンテーションを行うための技術と意識を涵養する。

科	生命科学科	きょういん 教員	伊藤
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

プレゼンテーションソフトの扱いに習熟し、指定テーマに沿って発表資料を作成することができる。また、完成した資料をもって口頭発表を実施し、質疑応答を行うことができる

後期

自ら主体性をもって主題を選定し、研究発表や企画発表を想定した時間の範囲でプレゼンテーションを企画・完成させ、口頭で発表することができる

授業計画

- 1回 授業の進め方、卒業研究発表の概要
- 2回 課題発表_3分間テーマ発表・フィードバック①
- 3回 課題発表_3分間テーマ発表・フィードバック②
- 4回 課題発表_3分間テーマ発表・フィードバック③
- 5回 課題発表_3分間テーマ発表・フィードバック④
- 6回 「伝わる」3つの原則
- 7回 「言葉」の戦略：言語化
- 8回 課題発表_1分間アイテム紹介・フィードバック①
- 9回 課題発表_1分間アイテム紹介・フィードバック②
- 10回 「言葉」の戦略：構成
- 11回 「言葉」の戦略：ストーリー
- 12回 課題
- 13回 課題
- 14回 課題
- 15回 前期期末試験（口頭発表①）
- 16回 前期期末試験（口頭発表②）
- 17回 前期期末試験（口頭発表③）
- 後期
- 18回 「言葉」の戦略：ファクト
- 19回 「言葉」の戦略：レトリック

- 20 回 「音声・動作」の戦略：発声
- 21 回 課題発表_12 分間フリーテーマ・フィードバック①
- 22 回 課題発表_12 分間フリーテーマ・フィードバック②
- 23 回 課題発表_12 分間フリーテーマ・フィードバック③
- 24 回 課題発表_12 分間フリーテーマ・フィードバック④
- 25 回 「音声・動作」の戦略：沈黙
- 26 回 課題発表_12 分間グループプレゼン・フィードバック①
- 27 回 課題発表_12 分間グループプレゼン・フィードバック②
- 28 回 課題発表_12 分間グループプレゼン・フィードバック③
- 29 回 課題
- 30 回 課題
- 31 回 後期期末試験（口頭発表①）
- 32 回 後期期末試験（口頭発表②）
- 33 回 後期期末試験（口頭発表③）
- 34 回 「音声・動作」の戦略：身体表現
- 35 回 「声」について

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、演習、課題作成

きょうざい 教材

特に指定しない。必要に応じて関連資料を配布することがある

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 しゅっせきりつ 20%（出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

学校内外で経験する、様々なプレゼンテーションへの傾聴

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

伊藤：インタープリターとして普及活動の経験

トレーニング概論・実習Ⅱ

(授業概要)

犬学 家庭犬のしつけ

犬との生活に必要なルールやマナーの構築

科	生命科学科	教員	高山美左
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×2コマ

目標

前期

人と犬との生活について必要なハウスマナーの構築、教え方を理解する

後期

人と犬との暮らしのQOLを考え、クライアントに提供する知識、技術を得る

授業計画

- 1回 実習の諸注意の確認、犬の散歩等の管理と取り扱いの確認、班分け、担当犬決め
- 2回 犬のボディランゲージ、ストレスサイン、カーミングシグナルの確認
- 3回 人と犬との生活について、ハウスマナー
- 4回 トイレトレーニング・ハウストレーニング
- 5回 犬の去勢と避妊について
- 6回 多頭飼育について
- 7回 ハンディキャップのある犬との暮らし方
- 8回 子供のいる家庭での犬との関係づくり1
- 9回 子供のいる家庭での犬との関係づくり2
- 10回 嫌悪刺激によるトレーニングの弊害と動物虐待、暴力の連鎖
- 11回 犬の飼い主の為のリーダーシップ教育とは
- 12回 飼い主のモラルとマナーについて
- 13回 リードプログラム
- 14回 前期のまとめ
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験
- 17回 テスト返し・解答
- 18回 リードプログラムの確認
- 19回 犬具の取り扱いについて

- | | |
|------|--------------------------------|
| 20 回 | トレーニング用犬具の使い方 |
| 21 回 | 甘噛み、いたずら噛み防止 |
| 22 回 | 吠える犬の分類と防止 |
| 23 回 | 飛びつき、人との挨拶 |
| 24 回 | 散歩のルールとマナー |
| 25 回 | 拾い食い防止 |
| 26 回 | 犬の健康と行動の関係 |
| 27 回 | 犬のボディコンディショニング |
| 28 回 | 犬のシニア期における行動の変化 |
| 29 回 | シニア期のトレーニングとは |
| 30 回 | 犬の QOL 1 |
| 31 回 | 犬の QOL 2 |
| 32 回 | 犬と一緒に出掛ける、車に乗る、電車やバスに乗る、旅行に行く等 |
| 33 回 | 後期期末試験 |
| 34 回 | 後期期末試験 |
| 35 回 | テスト返し、解答 |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学 実技実習

きょうざい 教材
テキスト、DVD、犬具、トレーニング用具等

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
実習犬の散歩等を通しての犬の管理や取り扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

ショップゼミ演習

(授業概要)

ペットショップを実際に運営し、接客・発注・売り場作成などを行うことで、インターンシップ実習では経験できないペットショップの仕事の本質まで理解すると共に、体力の向上と就職した際に即戦力となるための実習をおこなう。また、就職にむけての意識を高める。

科	生命科学科	きょういん 教員	津田
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×7 コマ

目標

前期

就職に向けて、専門学校の強みは何か、授業はなんのためにあるのか、自分はどのような人間か、自分が目指す企業はどんな企業かを調べ、理解し、話せるようになる。ショップ実習室では、ショップ運営に必要なものとはなにかを理解し、実際に行動する。

後期

動物や自分の研究したことを人に伝えるということを意識して、グループごとに調べて人前で話す。ショップ実習室では、売上をあげることを意識したショップ運営を行い、実際に前期よりも売り上げを上げる。

授業計画

- 1回 ショップゼミについて・卒業研究発表会について・ショップ実習室について
- 2回 就活について・ショップゼミの担当決め・ショップ実習室準備・運動を通して体力作り
- 3回 就活について・卒業研究発表会のメンバーや内容決め・POPの作成・運動を通して体力作り
- 4回 面接対策・卒業研究発表会の計画・ショップ実習室準備・面談・運動を通して体力作り
- 5回 面接対策・ショップ実習室の4月5月の振り返り・ショップ実習室準備・運動を通して体力作り
- 6回 グループディスカッション練習・ショップ実習室の準備・運動を通して体力作り
- 7回 グループディスカッション練習・ショップ実習室の準備・運動を通して体力作り
- 8回 スポーツ大会の練習・ショップ実習室の運営と準備
- 9回 スポーツ大会の練習・ショップ実習室の運営と準備・6月のショップ実習室の振り返り
- 10回 ショップ実習室の運営と準備・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り
- 11回 ショップ実習室の運営と準備・ショップ実習室夏休み前の管理・卒業研究発表会の進捗確認
- 12回 ショップ実習室の運営と準備・POPについて・運動を通して体力作り
- 13回 ショップ実習室の運営と準備・POPの作成・運動を通して体力作り
- 14回 ショップ実習室の運営と準備・チラシについて・運動を通して体力作り
- 15回 ショップ実習室の運営と準備・チラシ作成・運動を通して体力作り
- 16回 ショップ実習室の運営と準備・SNSの作成と宣伝・運動を通して体力作り

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 17 回 | 卒業研究発表会の進捗確認・ショップ実習室の清掃と運営・運動を通して体力作り |
| 18 回 | 前期期末試験 |
| 19 回 | 前期期末試験の結果発表と振り返り |
| 20 回 | ショップ実習室の運営と管理・面談 |
| 21 回 | ショップ実習室の運営と管理・9月のショップ実習室の振り返り・面談 |
| 22 回 | ショップ実習室の運営と管理・エキスポの準備 |
| 23 回 | ショップ実習室の運営と管理・エキスポの準備 |
| 24 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り |
| 25 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り |
| 26 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り |
| 27 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り |
| 28 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り |
| 29 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認・運動を通して体力作り |
| 30 回 | ショップ実習室の運営と管理・1年の振り返り・来年に向けての準備 |
| 31 回 | ショップ実習室の運営と管理・卒業研究発表会の進捗確認 |
| 32 回 | ショップ実習室の運営と管理・後期期末試験 |
| 33 回 | ショップ実習室の運営と管理・後期期末試験の結果発表 |
| 34 回 | ショップ実習室の運営と管理・年間売り上げの確認と反省 |
| 35 回 | ショップ実習室の運営と管理・大掃除と撤去作業 |

授業の方法

グループディスカッション・実習

教材

なし

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

ペットショップにて POP や売り場作成を随時チェックする

実務経験と授業科目の関係

あり

グルーミング概論・実習Ⅱ

(授業概要)

シャンプー犬のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、耳掃除、バリカン、ブラッシング、シャンプー、ドライング等を行い、1年を通してグルーミング技術や犬の扱い方について学ぶ。

科	生命科学科	きょういん 教員	草刈 祐子
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	35×5 コマ

目標

前期

ベーシックマスターライセンスの取得を目指す

全体で時間を計り、各自で時間配分を意識し実習を行う

(チワワ：100分 ダックスフンド・パピヨン：115分)

後期

1つ1つの作業を丁寧に言い、仕上がりを綺麗にする

ハサミの動かし方を理解し、希望者のみ飛節下・手根球下カットを行う

授業計画

- 1回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 2回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 3回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 4回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 5回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 6回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 7回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 8回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 9回 グルーミング実習 (2～3人で1頭)
- 10回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 11回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 12回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 13回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 14回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 15回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 16回 グルーミング実習 (1～2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 17回 グルーミング実習 (1～2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 18回 グルーミング実習 (1～2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 19回 グルーミング実習 (1～2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 20回 グルーミング実習 (1～2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 21回 グルーミング実習 (1～2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 22 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 23 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 24 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 25 回 | グルーミング実習・ライセンス試験 |
| 26 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）飛節下・手根球下カット開始 |
| 27 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 28 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 29 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 30 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 31 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 32 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 33 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 34 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 35 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

実技実習

きょうざい 教材

グルーミング用品

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

アニマルケア概論

（授業概要）

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

科	生命科学科	教員	荻野
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定1級合格を合格できるようになる。

後期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。
全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できる。

授業計画

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」 1 動物を飼う 「予防編」
- 2回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」 まとめ
- 3回 2 ペットとストレス 3・4 ストレスの原因
- 4回 5 アロマセラピー 6 精油とは
- 5回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 6回 9・10 精油の抽出方法 11・12 においと嗅覚
- 7回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 8回 16 アロマセラピーと基材
- 9回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 10回 30 種類の精油について
- 11回 ホリスティックアロマまとめ
- 12回 ペットアロマ実践
- 13回 試験対策
- 14回 前期期末試験
- 15回 前期期末試験返却
- 16回 ホリスティックマッサージとは ①なでる 手法実技
- 17回 ②たたく 手法実技
- 18回 ③引っ張る 手法実技

19 回 ④揺らす 手法実技
 20 回 ⑤もむ 手法実技
 21 回 ⑥押しまわす 手法実技
 22 回 ⑦手を当てる 手法実技
 23 回 応用編
 24 回 応用編
 25 回 技術確認
 26 回 実技テスト
 27 回 実技テスト
 28 回 実技テスト
 29 回 実技テスト
 30 回 食事栄養管理について①
 31 回 食事栄養管理について②
 32 回 後期期末試験
 33 回 後期期末試験返却
 34 回 食事栄養管理 実習
 35 回 年間まとめ

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

講義、演習、グループワーク

きょうざい
 教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10 枚 精油一覧表

ひょうか ほうほう
 評価の方法

きまつしけん
 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

D-HAB 経営

飼育用品概論 II

(授業概要)

ペットショップ・アニマルカフェなどの施設において生体管理をする上で使用する機材また道具の基本的な 使用方法を学習する。また、メーカーごとの特徴や用品のアレンジ方法なども理解する。

科	生命科学科	きょういん 教 員	津田
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

ペットショップで取り扱われている用品全般の特徴や使用方法、注意点などを把握できるようになる

後期

生体ごとの適している物などについて理解をし、話せるようになる

授 業 計 画

- 1 回 飼育用品概論 II とは、何をしていくか
- 2 回 用品説明・ケージについて
- 3 回 用品説明・サークルについて
- 4 回 用品説明・キャリーについて
- 5 回 用品説明・ベットについて
- 6 回 用品説明・食器や給水機について
- 7 回 用品説明・ペットシートやトレイについて
- 8 回 用品説明・おもちゃについて
- 9 回 用品説明・首輪やリードについて
- 10 回 用品説明・歯ブラシや爪切りについて
- 11 回 小テスト
- 12 回 小テストの結果
- 13 回 前期の振り返り
- 14 回 前期期末試験の対策
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験の結果発表
- 17 回 グループワーク
- 18 回 グループワーク
- 19 回 エキスポの準備
- 20 回 エキスポの準備
- 21 回 グループワーク
- 22 回 グループワーク
- 23 回 用品説明・猫ケージ

- 24 回 用品説明・キャットタワー
- 25 回 用品説明・爪とぎやおもちゃについて
- 26 回 犬猫の生体について
- 27 回 犬猫の生体について
- 28 回 犬猫の生体について
- 29 回 犬猫の生体について
- 30 回 犬猫の生体について
- 31 回 犬猫の生体について
- 32 回 後期期末試験
- 33 回 後期期末試験の結果発表
- 34 回 グループディスカッション
- 35 回 1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

グループディスカッション・座学

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

エキゾチックアニマルⅡ

(授業概要)

ペットとして人気になりつつあるチンチラ、デグー、ハリネズミなどの分類や生態、特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	生命科学科	きょういん 教 員	伊勢
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

チンチラ・デグー・ハリネズミの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

後期

フクロモモンガ・プレーリードッグ・リチャードソンジリス・シマリスの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

授 業 計 画

- 1 回 チンチラについて（分類、歴史）
- 2 回 チンチラについて（体の特徴）
- 3 回 チンチラについて（生理的な特徴）
- 4 回 チンチラについて（飼育方法）
- 5 回 チンチラについて（繁殖、病気）
- 6 回 デグーについて（分類、歴史）
- 7 回 デグーについて（体の特徴）
- 8 回 デグーについて（生理的な特徴）
- 9 回 デグーについて（飼育方法）
- 10 回 デグーについて（繁殖、病気）
- 11 回 ハリネズミについて（分類、歴史）
- 12 回 ハリネズミについて（体の特徴）
- 13 回 ハリネズミについて（生理的な特徴）
- 14 回 ハリネズミについて（飼育方法）
- 15 回 ハリネズミについて（繁殖、病気）
- 16 回 前期期末試験(実施)

- 17回 前期期末試験(返却・解説)
- 18回 フクロモモンガについて(分類、歴史)
- 19回 フクロモモンガについて(体の特徴)
- 20回 フクロモモンガについて(生理的な特徴)
- 21回 フクロモモンガについて(飼育方法)
- 22回 フクロモモンガについて(繁殖、病気)
- 23回 プレーリードッグについて(分類、歴史)
- 24回 プレーリードッグについて(体の特徴・生理的な特徴)
- 25回 プレーリードッグについて(飼育方法)
- 26回 プレーリードッグについて(繁殖、病気)
- 27回 リチャードソン・ジリスについて(分類、歴史)
- 28回 リチャードソン・ジリスについて(体の特徴・生理的な特徴)
- 29回 リチャードソン・ジリスについて(飼育方法)
- 30回 シマリスについて(分類、歴史)
- 31回 シマリスについて(体の特徴・生理的な特徴)
- 32回 シマリスについて(飼育方法)
- 33回 シマリスについて(繁殖、病気)
- 34回 後期期末試験(実施)
- 35回 後期期末試験(返却・解説)

授業の方法

講義

教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20% (出席率、授業態度等)

授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

実務経験と授業科目の関係

あり

接客実践

(授業概要)

- ・接客をするために必要な知識・技術を身につける。
- ・独立をした時や就職したときの戦力になることを目指す。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	ショップゼミ	教員の業務経験	○
対象年次	2 年	年間単位数	35

目標

前期

- ・人と接する中で意識すべきことを知り、接客に役立てる。
- ・売り場を知り、効果的な販売を知る

後期

- ・POP について理解し、活用できるようになる。
- ・イベント企画の流れを知る。

授業計画

- 1 回 フォトブース作成（春）
- 2 回 授業の説明・導入
- 3 回 接客とは（人と接すること）
- 4 回 第一印象
- 5 回 人の表情
- 6 回 人のカーミングシグナルから読み取る相手の気持ち
- 7 回 しゃべり（売り場を見る）お客様の視線
- 8 回 グループワーク（しゃべりを見て）
- 9 回 色を与える印象
- 10 回 人の脳と接客の関係
- 11 回 売場作成について（配置・並べ方）
- 12 回 販売のコツ・声かけ・呼び込み・ビラ配り
- 13 回 店内での受付
- 14 回 電話での予約受付・電話での案内
- 15 回 後期振り返り・試験前対策
- 16 回 前期期末試験（実施）
- 17 回 前期期末試験（返却・解説）
- 18 回 商品仕入れの流れと接客
- 19 回 しゃべり（売り場を見る）店員の視線
- 20 回 年間行事・効果的なセールの開催法

21 回 商品の魅力
22 回 POP とは
23 回 POP（文字練習）①
24 回 POP（文字練習）②
25 回 POP（作成のコツ）
26 回 POP 作成①
27 回 フォトブース作成（冬）
28 回 POP 作成②
29 回 効果的なイベント開催法①
30 回 効果的なイベント開催法②
31 回 効果的なイベント開催法③
32 回 悪徳な販売事例
33 回 リピーター・新規
34 回 後期期末試験（実施）
35 回 後期期末試験（返却・解説）

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつ しけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物人間関係学

(授業概要)

人と動物の関係について、その歴史と現在の状況について学ぶ。動物と暮らすことの恩恵、適切に関わるための知識（人と動物の福祉、動物介在介入、虐待等）についての理解を深め、社会の人々を支援できる力を育てる。

科	生命科学科	教員	中野 あや
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

人と動物の関わり方の歴史と現在の状況について学び、ペットが人に与える影響について理解する。
日本と欧米の動物の在り方について、その違いを説明できるようになる。

後期

動物介在介入について理解し、動物福祉の観点から活動を評価できるようになる。
人と動物の福祉の観点について学び、適正飼育や虐待についての知識を深める。

授業計画

- 1回 人と動物の関係学：ガイダンス
- 2回 なぜペットを飼うのか
- 3回 ペットの効果、現状
- 4回 人と動物の関係の歴史
- 5回 動物と宗教
- 6回 動物と日本の文化
- 7回 日本と西洋の動物との関わり方の比較
- 8回 前期前半まとめ、復習
- 9回 現代の動物の使用状況
- 10回 人の健康への動物の効果
- 11回 動物介在療法の歴史
- 12回 動物介在介入の定義
- 13回 学校飼育動物の現状
- 14回 動物介在介入のまとめ
- 15回 前期のまとめ、復習
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却、解答
- 18回 動物の役割（使役場面、高齢者、子供）と虐待

- 19 回 学校飼育動物の目的と実際、子供と動物
- 20 回 動物介在活動を実施するために
- 21 回 ふれあい教室の実際
- 22 回 動物虐待の定義と背景
- 23 回 動物虐待の対処と法規制
- 24 回 動物虐待・動物利用を考える
- 25 回 後期前半まとめ、復習
- 26 回 ペットの現状について
- 27 回 ペットと幸せに暮らすために
- 28 回 ペットへの愛着と依存
- 29 回 ペットロス
- 30 回 多頭飼育の問題
- 31 回 高齢化による飼育困難
- 32 回 ベテリナリーソーシャルワーク
- 33 回 後期まとめ、復習
- 34 回 後期期末試験
- 35 回 後期期末試験返却、解答

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

(愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4 巻)、授業用プリント、資料動画

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20% (しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

参考図書の紹介、休憩時間の質問対応

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり